

宮崎県中学校総合体育大会
第75回
柔道競技実施要項

主催 宮崎県教育委員会 宮崎県中学校校長会 宮崎県中学校体育連盟
後援 宮崎県市町村教育委員会連合会 (公財) 宮崎県スポーツ協会
主管 宮崎県中学校体育連盟

1 日時 令和6年7月 6日(土)・7日(日)

	7月 6日(土) 団体戦	7月 7日(日) 個人戦
計 量	8時15分～ 9時00分	8時15分～ 9時00分
審判会	9時00分～ 9時30分	9時00分～ 9時30分
監督会	9時30分～ 9時50分	9時30分～ 9時50分
開始式	10時00分～10時10分	10時00分～10時10分
競技開始	10時15分～	10時15分～

2 会 場 ひなた武道館 柔道場

- 3 参加資格
- (1) 中学校単位での参加
各地区中学校体育連盟に所属する単一校チーム・個人であること。(全柔連登録は必須)
 - (2) 地域クラブ活動での参加
 - 各都道府県柔道連盟(協会)を通して公益財団法人全日本柔道連盟(全柔連)に加盟、登録を済ませていること。
 - 大会の引率、監督、帯同コーチは、県大会においては全柔連公認指導者資格C指導員以上の資格を有していること。
 - (3) 柔道修行期間を6ヶ月以上経過した中学生であること。
 - (4) 団体戦・個人戦ともに、同一団体からの出場とする。

4 参加料 参加選手一人あたり1,000円とする。申込み後の返金はしない。
中学校単位での参加については、各学校でとりまとめて各地区中体連事務局に支払うこと。
地域クラブ活動での参加については、下記の口座へ振り込むこと。

宮崎銀行 店番号：020 口座番号：1684747
宮崎県中学校体育連盟 会長 谷口行孝

振り込む際、必ずチーム名で振り込むこと。(振込切; 6月19日午前10時迄)
振込手数料は、参加者負担とする。 ※上記口座への振込は、地域クラブ活動からの参加のみ。

- 5 出場制限
- (1) 中学校単位での参加の場合
 - ア 団体戦は、学校単位参加とし、各学校男女1チームとする。
 - イ 個人戦は、学校単位参加とし、各階級参加数制限はなしとする。
 - (2) 地域クラブ活動での参加の場合
 - ア 団体戦は、各クラブ男女1チームとする。
 - イ 個人戦は、各クラブ男女各8名以内とする。
 - (3) 男子団体戦のチームの編成は、監督1名・コーチ1名・選手5名・補欠2名以内とする。
 - (4) 女子団体戦のチームの編成は、監督1名・コーチ1名・選手3名・補欠1名以内とする。
 - (5) 男子3名以上、女子2名以上の編成を認める。

- 6 競技方法
- (1) 団体戦は、参加チーム数をみて競技専門で検討し、理事会で決定する。
 - (2) 個人戦は、トーナメント法とする。

- 7 競技規則
- (1) 国際柔道連盟試合審判規定、「少年大会特別規定」及び本大会規則による。
 - (2) 団体戦のオーダーは、体重の軽い順に編成を行い、チームで体重が一番軽い選手が先鋒、一番重い選手が大將とする。但し、男子5名、女子3名に満たないでメンバーを編成するときは、男子は先鋒、次に次鋒、女子は先鋒を空きとし、残りを体重順に編成する。補欠を選手に繰り入れるときも体重順に編成する。補欠と交替した選手はその後の試合には出場できない。なお、オーダーの変更の届けは監督のみとする。怪我等があり、選手変更届けを提出する場合は、補欠の選手を優先してメンバーに加えた後に、新たに変更した選手を補欠に入れること。補欠の選手を入れ替える場合は、そのまま入れ替えることができる。
 - (3) 男女個人戦の階級は、下記の通りとする。

男 子		女 子	
階 級	区 分	階 級	区 分
50kg級	50kg以下	40kg級	40kg以下
55kg級	50kg超～55kg以下	44kg級	40kg超～44kg以下

60kg級	55kg超～60kg以下	48kg級	44kg超～48kg以下
66kg級	60kg超～66kg以下	52kg級	48kg超～52kg以下
73kg級	66kg超～73kg以下	57kg級	52kg超～57kg以下
81kg級	73kg超～81kg以下	63kg級	57kg超～63kg以下
90kg級	81kg超～90kg以下	70kg級	63kg超～70kg以下
90kg超級	90kg超～	70kg超級	70kg超～

- (4) 計量の服装は、男子は下穿きのみ、女子はTシャツと下穿きのみを着用とする。尚、下着は認めるが、包帯・サポーター等の着用は一切認めない。(柔道衣等の重さは含まない)
- 団体戦 ア チームごとに選手及び補欠の全員の測定を行うこと。
 イ 順番の入れ替え等があった場合は通知する。
 ウ 全員必ず下穿きを着用すること。
 エ 計量には監督かコーチが必ず立ち会うこと。
- 個人戦 ア 定められた階級の体重区分にない者は失格とする。
- (5) 試合時間は団体戦・個人戦共に3分間とする。
 ○個人戦の判定基準は「技有」もしくは「指導差2」からとし、ゴールデンスコア(延長戦)は時間無制限とする。
 ○団体戦の判定基準は「僅差」を取り入れ、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。「僅差」勝ちとは、「指導」差が2あった場合に、「指導」の少ない選手を優勢勝ちとする際の名称とする。優劣の成り立ちは「一本」=「反則勝ち」)「技有り」)「僅差」で内容が同数になった場合は、前述の優劣に基づきチームの勝敗を決定する。
 代表戦は任意の選手として判定基準は個人戦と同様とする。代表戦は3分間の本戦を行い、技によるスコア及び罰則が同等の場合は時間無制限のゴールデンスコアによって勝敗を決する。
- (6) 団体戦のリーグ戦の成績は、次の順によって決定する。
 ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
 イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。
 ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容による。
 エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
 オ エにおいて同等の場合は、負けの内容による。
 カ オにおいて同等の場合は、代表戦(1名)による。
- (7) トーナメント戦の勝敗は、次の順によって決定する。
 ア チーム間における勝ち数の合計による。
 イ アにおいて同等の場合は、勝ちの内容による。
 ウ イにおいて同等の場合は、代表戦(1名)により決定する。
- (8) ゼッケンの着用
- ① 柔道衣にゼッケンを着用して試合すること。
 ア 布地は白色(晒、太綾)
 イ サイズは横30～35cm、縦25～30cm
 ウ 名字(姓)は上側 2/3、チーム名は下側
 (例)海山中→海山(中は不要です。)
 エ 書体は太字ゴシック体または明朝体
 オ 男子は黒色、女子は赤色
 カ 縫い付けの場所は後ろ襟から5～10cm下部の位値
 周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
-
- ② 柔道着の胸のマーキング等については、道場名も可とするが、柔道着のゼッケンと胸マーキングは統一すること。
 (例)ゼッケンは道場名、胸マーキングは道場名→○
 ゼッケンは中学校名、胸マーキングは中学校名→○
 ゼッケンは道場名、胸マーキングは中学校名→×
 ゼッケンは中学校名、胸マーキングは道場名→×
-
- ③ 九州、全国大会出場の際は、IJF認定柔道衣を着用する。
- (9) 女子のTシャツについては、丸首の白Tシャツとする。
- (10) その他の服装に関しては、国際柔道連盟試合審判規定「少年大会申し合わせ事項」に準ずる。
- (11) 脳震盪について、選手および指導者は下記事項を遵守する。
 ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診療を受け、出場の許可を得ること。
 ② 大会中、脳震盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは不可とする。
 (尚、至急専門医[脳神経外科]の精査を受けること)
 ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し書面により事故報告書を提出すること。
- (12) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。
 感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合がある。

8 組合せ

- (1) 団体戦の組合せは、6月20日(木)宮崎県中学校体育連盟柔道競技専門部会において各地区中体連理事長及び県中体連事務局の抽選による。
- (2) 個人戦の組合せは、宮崎県中学校体育連盟柔道競技専門部の責任抽選とする。

